

「21世紀環境立国戦略」策定の背景と経緯

環境問題に関する 2007、08年の主な 国際スケジュール

07年に入り、気候変動に関する最新の科学的知見がIPCCから発表される中、国際社会では、京都議定書第一約束期間後の取組に関する議論が大きな関心を集めています。また、気候変動は、生物多様性など他の環境問題とも密接に関連していることから、07年6月のハイリゲンダムサミットでは、気候変動を中心とする環境問題が主要国の首脳の間で活発に議論されました。

07年から08年にかけて開催される気候変動枠組条約や生物多様性条約の締約国会議での議論も踏まえつつ、08年7月に我が国で開催される北海道洞爺湖サミットでも、こうした環境問題が取り上げられることとなっています。

21世紀環境立国戦略は、07年及び08年が環境問題についての大きな節目の年であることを踏まえ、安倍総理より07年1月の通常国会において、国内外をあげて取り組むべき環境政策の方向を明示し、今後の世界の枠組みづくりへ我が国として貢献するための指針として同年6月までに策定することが発表されました。

施政方針演説から 閣議決定まで

その後、安倍総理から若林環境大臣に「21世紀環境立国戦略」の策定が指示されたことを踏まえ、中央環境審議会に「21世紀環境立国戦略特別部会」が設置されました。本部会では、鈴木基之中環審会長を部会長として、各分野の26名の有識者を関係各府省庁の協力のもと委員としてご参画頂き、計10回の審議を行いました。

また、産業界、有識者、地方自治体、NGO、関係省からのヒアリングを行うとともに、国民からの意見募集も行いました。

5月29日に本特別部会において意見員中がとりまとめられたことを踏まえ、6月1日に政府において「21世紀環境立国戦略」が閣議決定されました。



2007年

1月 26日 安倍総理施政方針演説：「戦略」策定の方針を明言
「… 国内外をあげて取り組むべき環境政策の方向を明示し、今後の世界の枠組み作りへ我が国として貢献する上での指針として、「21世紀環境立国戦略」を6月までに策定します。」

2月 ・安倍総理より若林環境大臣に対し、「戦略」策定の検討を指示

・環境省内に「21世紀環境立国戦略プロジェクトチーム」設置
・中央環境審議会に「21世紀環境立国戦略特別部会」設置

3月 中環審21世紀環境立国戦略特別部会における検討
(部会長—鈴木基之中環審会長、委員：各分野の有識者26名)

○計10回の審議(公開)

4月 ○ヒアリング

(産業界、有識者、地方自治体、NGO、関係省庁)
○中間論点整理(案)に対する国民からの意見募集

5月 29日 「21世紀環境立国戦略の策定に向けた提言」意見員申

6月 1日 「21世紀環境立国戦略」閣議決定(6/1)

6~8日 ハイリゲンダムサミット(ドイツ)